

平成20年度 市長施政方針

Smile (笑顔) 子どもたちに笑顔を!

【子育て支援】
子育て支援では、家庭保育室の延長保育に対する時間外保育料の一部公費負担、病児保育事業の実施により、子育てと仕事の両立を支援します。また、市民医療センターに常勤小児科医を1人増やし小児夜間診療の一層の充実を図ります。さらに、公費負担による妊婦検診の回数を増やすとともに、生後4か月までの乳児をもつ全家庭を訪問する「こんには赤ちゃん事業」を実施します。

【教育・文化】
教育の分野では、安全・安心な学校と地域づくり推進事業の充実を図るとともに、家庭・地域・学校の連携を一層強化し、児童生徒の安全の確保に努めます。



楽しく遊ぶ子どもたち

学校教育では、各小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、通常学級に在籍する障害のある児童生徒に対する生活指導や学習を支援します。また、小・中学校の耐震補強工事等を実施するほか、給食の自校化、学校給食センターの設備改修を計画的に進め、安全・安心な学校給食の運営に努めます。放課後児童対策では、小手指小学校区と東所沢小学校区に新たに児童クラブ

を建設するほか、児童の活動場所として小学校施設を開放する「ほうかこ」の実施を拡大します。生涯学習では、新所沢公民館建替に伴う基本設計・実施設計を行うとともに、中央公民館の平成22年度開館に向けた準備を進めます。また、旧木東小学校跡地を生涯学習の拠点施設として活用するため、平成21年の開設に向けて、校舎の改築工事を進めるとともに、同校を活用した「ふるさと研究活動」を推進し、市民との協働による手づくりの博物館の実現を目指します。文化財の保存・活用では、滝の城跡保存管理計画を策定します。図書館事業では、改装した図書館本館を中心に一層のサービス向上に努めます。

4つのSの実現に向けて

- Safety (安心)**……高齢者皆さんが安心して暮らせるまちづくり
- Soft (自然)**……豊かな自然が共生環境に配慮したまちづくり
- Smile (笑顔)**……笑顔あふれるまちづくり
- Save (節約)**……生活者の目線で時代の変化に即応できる市役所改革



Safety (安心) 生活が第一・あったか市政

【福祉・保健】
高齢者福祉では、地域包括支援センターを拠点に、高齢者支援の体制づくりを進めます。また、単身高齢者のみまもり活動事業の充実とともに、空き店舗・住宅等を活用した「居場所づくり」を進めます。「第3期所沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」で定める施設整備を進めるとともに、公平・公正な介護認定審査の維持に努めます。このほか、「後期高齢者医療制度」について適正に事務を進めます。障害者福祉では、「第2次所沢市障害者計画」第2期所沢市障害福祉計画」の策定を進めます。また、障害者や家族に対する相談支援事業を増やし充実を図ります。



障害者スポーツフェスティバル

保健・医療施策では、「健康日本21所沢市計画」の周知・普及に努めるとともに、人間ドック事業や、特定健康診査・特定保健指導により、市民の健康維持・増進を図ります。

【防犯・防災】
防犯対策では、啓発ステッカーや防犯標語を活用し犯罪の抑止を図るとともに、講座やイベント開催で防犯意識の高揚を促進し、犯罪を起させにくい地域環境づくりを推進します。さらに、ダイヤ4市(飯能市・狭山市・入間市・所沢市)等との協定による広域的な防犯活動に積極的に取り組みます。防災対策では、防災訓練の実施や災害時要援護者情報登録の推進、非常用飲料水の確保に努めます。また、震度計の地震情報を活用し、地震発生時の適切な対応を図ります。このほか、住宅の耐震診断や構造計算の再チェック費用の一部を補助します。

「生き活きところざわ、あったか市政」を目指して

Save (節約) 生活者の目線で市役所改革

市役所改革では、本年度からスタートする第4次行政改革大綱により、一層積極的な改革を進めます。市民協働のまちづくりでは、「(仮称)所沢市まちづくり基本条例」の制定に向けて取り組みを進め、自らの確立を目指します。



(仮称)所沢市まちづくり基本条例勉強会

市役所改革では、本年度からスタートする第4次行政改革大綱により、一層積極的な改革を進めます。市民協働のまちづくりでは、「(仮称)所沢市まちづくり基本条例」の制定に向けて取り組みを進め、自らの確立を目指します。

市役所改革では、本年度からスタートする第4次行政改革大綱により、一層積極的な改革を進めます。市民協働のまちづくりでは、「(仮称)所沢市まちづくり基本条例」の制定に向けて取り組みを進め、自らの確立を目指します。

4つのSに沿って、主な施策を紹介

市政運営に対する基本的な考え方

所沢市長 当麻 よし子



急速に進む社会的格差がはじめ、市民の生活に対する将来への不安が広がっています。同時に、市民ニーズも多種多様化し、割、責任はますます重くなっています。こうしたや痛みをしっかりと受け止める政治が必要だと感じています。

そこで、市民の思いを真摯に受け止めて、市民と双方向の市政運営、「市民協働のまちづくり」を基本に、常に市政運営に努めてまいります。

また、マニフェストに掲げた「生き活きところざわ、あったか市政」の実現に向けた4つのSと「40の約」の整合を図り、山でも「実施計画」に位置づけながら、主要な財政指標からは比較的健康であると言われている本市の常収支比率は確実に上昇を続けており、これ以上行政改革への取り組みが求められています。そこで、や「入札制度の見直し」も含めた「所沢市第4次行政改革大綱」により、者・環境」そして「地域コミュニティの再生」をキーワードに「(仮称)即した機能的でわかりやすい組織を進めてまいります。

本年度は、私にとりまして本格的なスタートの年となります。私は、「生き活きところざわ、あったか市政」を引き継げる「魅力とやすらぎある」り上げるため、全力で取り組んでま

Soft (自然) 人と自然が共生する所沢

【環境】
「所沢市環境基本計画」に基づき持続的発展可能なまちを目指します。ISO14001関連事業では、自らの責任で運用する自己宣言をダイヤ4市合同で行います。また、講演会や温暖化防止活動奨励金の実施、エコ・モビリティの浸透を図り地球温暖化対策を進め、学校版環境ISOやキ



工事が進む元町北地区再開発事業

【都市基盤】
中心市街地等の整備では、元町北地区の再開発事業とともに、隣接する橋の架換および歩道整備を進めます。

【市民活動・産業経済】
「市民活動支援室」を設置し、コミュニティ活動の促進とNPO活動支援に取り組めます。また、市民の地域活動を支援する市民活動総合補償制度を新設し、さらに活動を行う里親制度を導入します。男女共同参画の推進では、「何でもさきま」の推進では、「何でもさきま」など相談体制を充実します。

実施するほか、寿町南A地区の民間再開発事業を支援・指導します。また、「所沢駅周辺まちづくり基本構想」を策定するとともに、所沢駅西口地区の事業の方向性を定め、西所沢駅西口改札口の開設については、地域と連携して取り組みます。

予算編成の基本的な考え方

本年度予算の編成にあたっては、厳しい財政事情を踏まえ、経常経費の削減等事務事業の抜本的見直しを行い、総合計画や行政評価の結果を最大限尊重した予算配分を行うとともに、各部署等の自主的・主体的な経費の組み立てを尊重するため、引き続き一般財源枠配分方式を採用しました。これにより、実施計画と予算編成の連携強化を図り、過重な後年度負担を招かないことで、一層厳しさを増す財政運営に対処していくとともに、少子・高齢社会に対応した社会保障費の伸びや小・中学校の耐震化などを見込みながら、生活者の目線に立った財源の効率的な配分に努めました。

市ホームページからもご覧になれます

本号では、「平成20年度市長施政方針」の主な内容について掲載しました。施政方針の全文につきましては、市ホームページ(「ようこそ市長室へ!」→「市長からのメッセージ」をクリック)でご覧になれます。問い合わせ 秘書広報課(☎2998-9022・FAX2998-9191)